

■ 事業概要

1. 目的

社会的養護のもとで育った生徒が大学等への進学をあきらめることのないようにするため、寄附金事業として、児童養護施設等に在籍する高等学校等卒業予定（卒後2年以内を含む）である生徒に対し、受験に要する諸費用の支援（以下「受験料等支援」という。）を行う。

2. 概要

(1) 募集期間

2025年8月1日～2026年2月27日

(2) 対象の児童養護施設等

①児童養護施設、②児童自立支援施設、③児童心理治療施設、④自立援助ホーム、⑤里親、⑥ファミリーホーム

※ 日本学生支援機構（以下「JASSO」という。）の給付奨学金における社会的養護の対象施設等と同じ。

(3) 支援対象者となる要件

以下の i) ～ iii) の要件をすべて満たす人

i) (2)の施設等に在籍する2026年3月末に高等学校（本科）等を卒業予定である人（同月末において卒業後2年以内の人を含む）

ii) 大学等への進学を希望し受験する人 iii) 申請時点において就職の内定を受けていない人

(4) 支援額

1人当たり20万円/年 ※ 同一の募集期間につき、1人1回の申請。

(5) 支援金の対象用途

「受験料」、「交通費」、「宿泊費」等の受験に要する諸費用 ※ 受験してもなお残金が生じた分は修学に係る費用に充てる等、進学に向けた準備に活用可能。

(6) 支援金の申請から支給決定後の流れ

支援対象者は在籍する児童養護施設等を通じてJASSOに申請し、JASSOは児童養護施設等を通じて支援金を交付する。

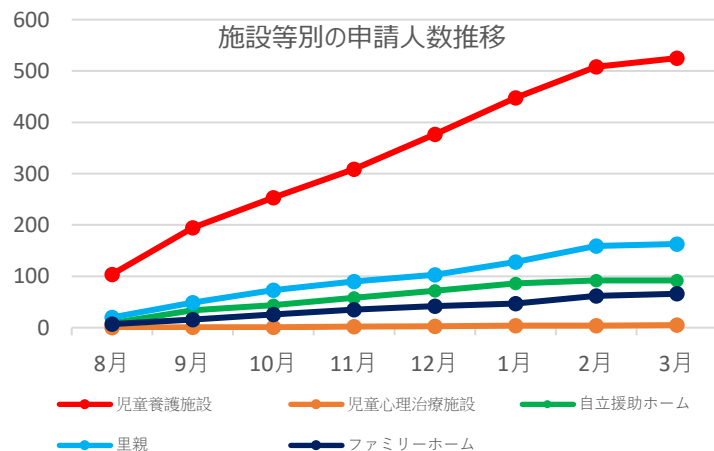
大学等の受験後、「支援金の受領報告書」と「受験票(コピー)」(合否通知書でも可)を児童養護施設等を通じてJASSOに提出する。

3. 申請実績

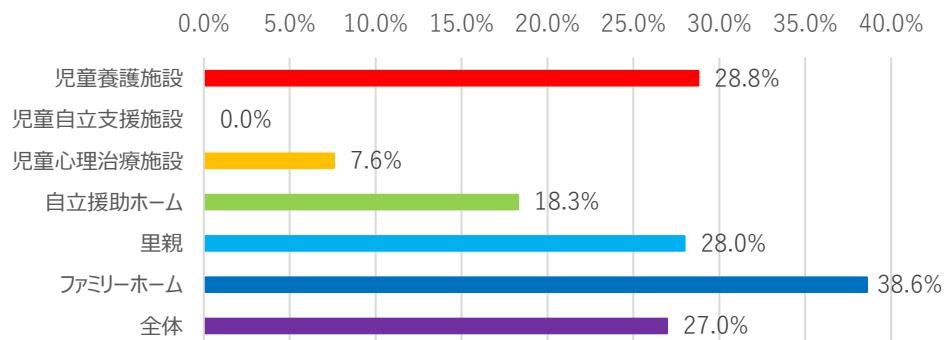
2025年度の申請実績は、**850人 (1億7,000万円)**

(参考) 2024年度 申請実績 786名 (1億5,720万円)

2025年度	児童養護施設		児童自立支援施設		児童心理治療施設		自立援助ホーム		里親		ファミリーホーム		合計	
	施設等数	申請人数	施設等数	申請人数	施設等数	申請人数	施設等数	申請人数	施設等数	申請人数	施設等数	申請人数	施設等数	申請人数
8月	45	104	0	0	0	0	6	9	20	20	6	7	77	140
9月	43	91	0	0	1	1	20	25	27	28	9	9	100	154
10月	33	58	0	0	0	0	9	10	24	24	8	10	74	102
11月	27	56	0	0	1	1	12	14	17	17	7	9	64	97
12月	40	68	0	0	1	1	11	14	13	13	7	7	72	103
1月	43	71	0	0	1	1	8	14	25	25	5	5	82	116
2月	27	60	0	0	0	0	6	6	31	31	13	15	77	112
3月	7	17	0	0	1	1	0	0	4	4	3	4	15	26
合計	265	525	0	0	5	5	72	92	161	162	58	66	561	850
(参考)2024年度 申請実績	246	498	1	1	8	12	57	75	148	149	44	51	504	786



施設等別18～20歳在籍児童数に占める申請人数の割合



4. 支援実績

2025年度の支援実績は、**839人 (1億6,780万円)**

(参考) 2024年度 支援実績 761名 (1億5,220万円)

2025年度	児童養護施設		児童自立支援施設		児童心理治療施設		自立援助ホーム		里親		ファミリーホーム		合計	
	施設等数	人数	施設等数	人数	施設等数	人数	施設等数	人数	施設等数	人数	施設等数	人数	施設等数	人数
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	43	96	0	0	0	0	6	9	20	20	3	3	72	128
10月	50	104	0	0	1	1	25	30	40	41	14	16	130	192
11月	26	44	0	0	0	0	4	5	10	10	4	5	44	64
12月	19	38	0	0	1	1	7	9	13	13	5	6	45	67
1月	54	97	0	0	1	1	18	22	21	21	11	12	105	153
2月	31	47	0	0	1	1	6	11	15	15	4	4	57	78
3月	41	89	0	0	1	1	6	6	42	42	16	19	106	157
合計	264	515	0	0	5	5	72	92	161	162	57	65	559	839
(参考) 2024年度 支援実績	244	483	1	1	8	11	54	69	145	146	44	51	496	761

前年度実績より、**10.2%増加**した。

実施3年目であることにより、**認知度が向上**したためと考えられる。

社会的養護の施設等の概要と施設等数

【出典】 こども家庭庁：資料集「社会的養育の推進に向けて」(令和8年3月)

- ✓ 里親数、ファミリーホーム数、委託児童数、児童養護施設・児童心理治療施設の施設数・現員は福祉行政報告例（令和7年3月末現在）
- ✓ 児童自立支援施設、児童自立生活援助事業所の施設数・現員は家庭福祉課調べ（令和6年10月1日現在）
- ✓ 児童養護施設・児童自立支援施設・児童心理治療施設・里親・ファミリーホームの18～19歳の在籍児童数、自立援助ホームの18～20歳の在籍児童数は児童養護施設入所児童等調査結果（令和5年2月1日現在）
- ✓ 児童養護施設児、里親委託児の進学率は家庭福祉課調べ、全高卒者は学校基本調査（令和6年5月1日現在）
- ✓ 進学率における「大学等」とは大学、短期大学、高等専門学校第4学年を指し、「専修学校等」とは専修学校、各種学校、公共職業訓練施設を指す。

児童養護施設

[対象児童]

保護者のない児童、虐待されている児童その他環境上養護を要する児童
(特に必要な場合は、乳児を含む)

- ・施設数 607か所
- ・入所児童数 21,472人
- ・18歳～19歳の在籍児童 1,824人
- ・進学率 大学等 24.2%、専修学校等 17.2%

児童自立支援施設

[対象児童]

不良行為をなし、又はなすおそれのある児童及び家庭環境その他の環境上の理由により生活指導等を要する児童

- ・施設数 58か所
- ・入所児童数 1,130人
- ・18歳～19歳の在籍児童 10人

児童心理治療施設

[対象児童]

家庭環境、学校における交友関係その他の環境上の理由により社会生活への適応が困難となった児童

- ・施設数 53か所
- ・入所児童数 1,299人
- ・18歳～19歳の在籍児童 66人

児童自立生活援助事業所（自立援助ホーム等）

[対象児童]

義務教育を終了した児童であって、児童養護施設等を退所した児童等

- ・施設数 631か所
- ・入所児童数 1,782人
- ・18歳～20歳の在籍児童 503人

里親

保護者のない児童又は保護者に監護させることが不相当であると認められる児童について、里親の家庭で養育を行う

- ・委託里親数 5,411世帯
- ・委託児童数 6,637人
- ・18歳～19歳の在籍児童 579人
- ・進学率 大学等 39.7%、専修学校 18.2%

ファミリーホーム

保護者のない児童又は保護者に監護させることが不相当であると認められる児童について、養育者の住居で養育を行う事業（定員5～6人）

- ・ホーム数 505か所
- ・委託児童数 1,862人
- ・18歳～19歳の在籍児童 171人

(参考) 全高卒者の進学率：大学等 57.9%、専修学校等 19.4%

5. 支援を受けた生徒の声

- チャレンジの機会を与えてもらってありがとうございます。
- 志望校としていた国公立大学に加え、私立大学への出願も視野に入れることが出来ました、このような環境のもとで不安を感じず、受験に臨めたことに大変感謝をしています。ありがとうございます。
- この支援を知り、県外の大学受験をすることができました。ありがとうございました。
- お金の心配がありましたが、支援のおかげで受験、進学することが出来ました。ありがとうございました。
- 進学のため費用を自分で準備することに不安を感じていましたが、支援をしていただいたおかげで、安心して専門学校を受験できました。将来は子ども一人ひとりの気持ちに寄り添える保育士になりたいと考えています。支援していただいたことを励みにして、これからも夢に向かって頑張っていきます。

6. 支援を受けた施設や里親等の声

- 受験料以外にも進学に必要なもののために使用できる点で、大変ありがたく感じています。また、進学か就職か決め切れない子ども少なくはないので、申請期間が長いことで利用のしやすさを感じています。
- 受験料支援のおかげでオープンキャンパスにも行きやすくなり、受験校の選択肢やチャレンジ方法も増え悔いなく進路を決定しやすくなったと思います。
- 10代後半で入居した入居者は児童手当の累積もなく、受験に関わる費用の捻出が難しい場合が多いので、大変助かる制度です。ありがとうございます。
- 今回、受験料等支援がなかったら、大学受験はさせてあげられませんでした。ありがとうございました。おかげで合格できました。
- 受験にかかる費用の他、入学準備にもPC購入など、資金が必要になる為、そちらにも使用できることがとても助かります。ご支援ありがとうございました。

ほかにも、同様の声を多数いただいています。

7. 進学先等調査の実施

今後の参考とするため、2025年度に本事業へ申請があった施設等を対象に、受験回数・費用、進学先の学校等についてアンケートを実施した。

【調査対象】

2025年度「児童養護施設等の生徒への受験料等支援」申請の施設等※：547件（施設等）

- ①2月末までに交付済みの施設等対象：445件
- ②3月以降に交付した施設等対象：102件

※申請者全員が辞退した施設を除く

【調査方法】

アンケート用紙を送付（返信用封筒を同封）

【回答方法】

アンケート用紙に記入して返信用封筒にて回答
もしくは、アンケートフォーム入力により回答

【実施期間】

- ①2026年3月上旬～2026年3月31日
- ②2026年3月中旬～2026年4月10日

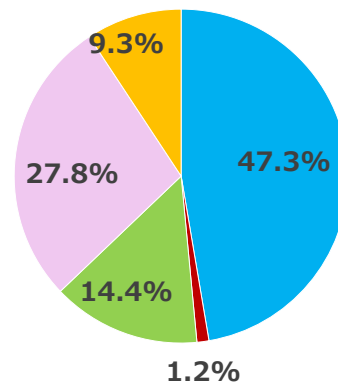
【回答率】

78.8%：431件／547件

※人数ベースの回答率は78.3%：665人／849人

1 施設等分類【単一選択】

分類	回答件数	構成割合	(参考)	
			送付件数	回答率
■ 児童養護施設	204	47.3%	258	79.1%
■ 児童自立支援施設	0	0.0%	0	—
■ 児童心理治療施設	5	1.2%	5	100.0%
■ 自立援助ホーム	62	14.4%	69	89.9%
■ 里親	120	27.8%	161	74.5%
■ ファミリーホーム	40	9.3%	54	74.1%
合計	431 (665人)	100.0%	547 (849人)	78.8%



施設全体の8割弱が回答に協力。

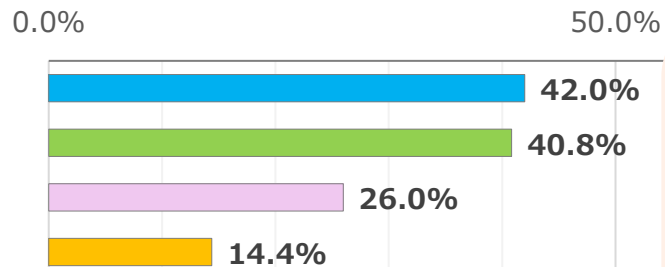
回答率は参考値とした。

(理由)

送付件数が少ない施設は回答1件あたりの影響が大きく出るため。

2 本事業を知ったきっかけ【複数選択可】

知ったきっかけ	件数	割合
■ 全国団体を通じて (全国児童養護施設協議会 等)	181	42.0%
■ JASSOホームページを見て	176	40.8%
■ 児童相談所から	112	26.0%
■ その他 ※	62	14.4%
合計	531	—



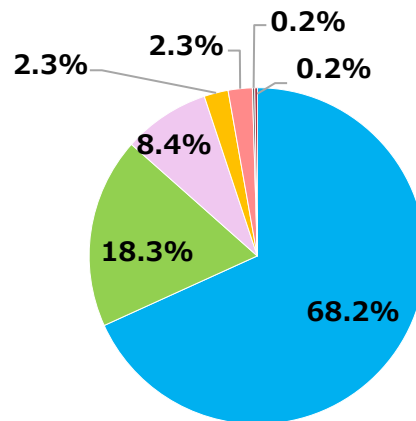
※ その他の主な内訳	件数
● 高校	10
● 自治体・フォスティング機関等	28
● 里親会、口コミ等	14

全国団体と並び、JASSOホームページによる周知が最も効果的だが、複数ルートから情報が得られれば、より周知徹底が期待できる。

JASSOは、令和7年度募集開始にあたりプレスリリースを行うとともに、全国団体に周知依頼を実施。

■ 3 施設等別の申請人数【単一選択】

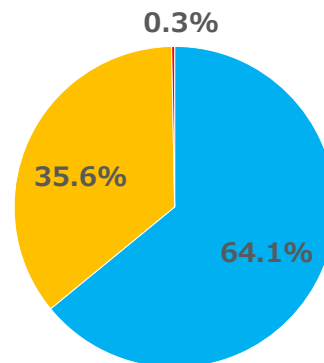
申請人数	施設等申請件数	割合
■ 1人	294	68.2%
■ 2人	79	18.3%
■ 3人	36	8.4%
■ 4人	10	2.3%
■ 5人	10	2.3%
■ 6人	1	0.2%
■ 9人	1	0.2%
合計	431	100.0%



申請人数は大半が1人である。

■ 4 申請者別の申請時期【単一選択】

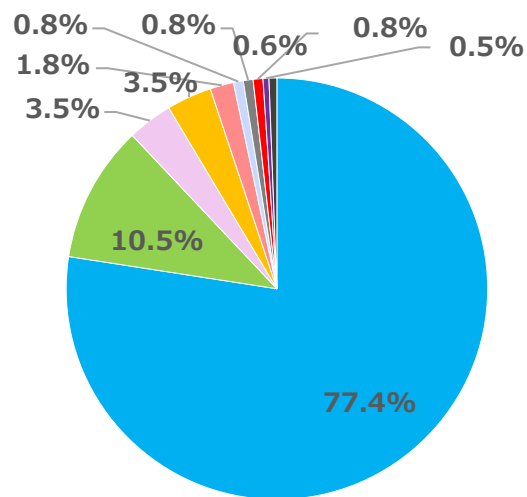
申請時期	申請人数	割合
■ 受験前	426	64.1%
■ 受験後	237	35.6%
■ 未回答	2	0.3%
合計	665	100.0%



受験前の申請が多い。

5 申請者別の受験校数【単一選択】

受験校数	申請人数	割合
1校	515	77.4%
2校	70	10.5%
3校	23	3.5%
4校	23	3.5%
5校	12	1.8%
6校	5	0.8%
7校	5	0.8%
8校以上	5	0.8%
0校	3	0.5%
未回答	4	0.6%
合計	665	100.0%

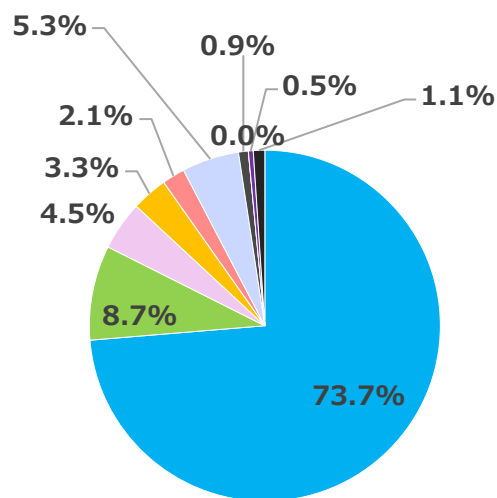


受験校数の平均 1.5校

受験1校が全体の約8割を占め、2校までが約9割。3校以上は急減。

6 申請者別の受験回数【単一選択】

受験回数	申請人数	割合
1回	490	73.7%
2回	58	8.7%
3回	30	4.5%
4回	22	3.3%
5回	14	2.1%
6~10回	35	5.3%
11~20回	6	0.9%
0回	3	0.5%
未回答	7	1.1%
合計	665	100.0%



受験回数の平均 1.8回

受験回数1回が約7割。3回以上は急減。

7 申請者別の受験費用 ※千円未満を四捨五入の上、回答するよう依頼した。例えば1万円台とは、1.0～1.9万円を指す。

**受験料の平均：
4.8万円**
(最高額 70万円)

受験料は3万円台が最も多く、次いで1万円未満となっている。受験1校、AO入試が多いことを反映。

受験料 (万円)	申請人数
1万円未満 (うち推薦入試等による受験料なし)	114 (103)
1万円台	67
2万円台	106
3万円台	218
4万円台	19
5万円台	17
6万円台	19
7万円台	12
8万円台	10
9万円台	5
10万円台	40
20万円台	22
30万円台	11
40万円台	1
50万円台	3
60万円台	0
70万円台	1
計	665

**交通費の平均：
0.7万円**
(最高額 10.3万円)

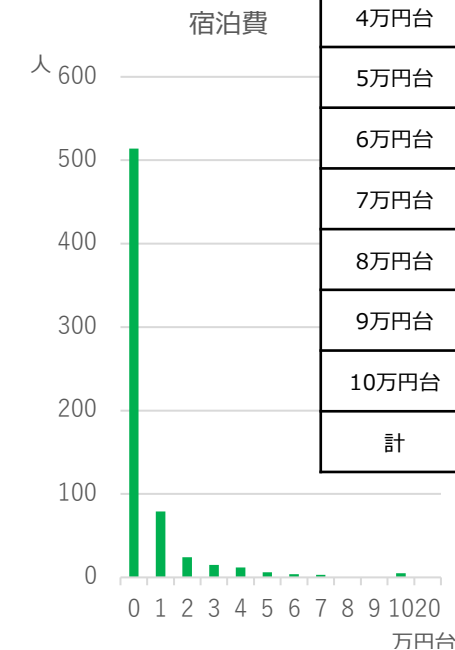
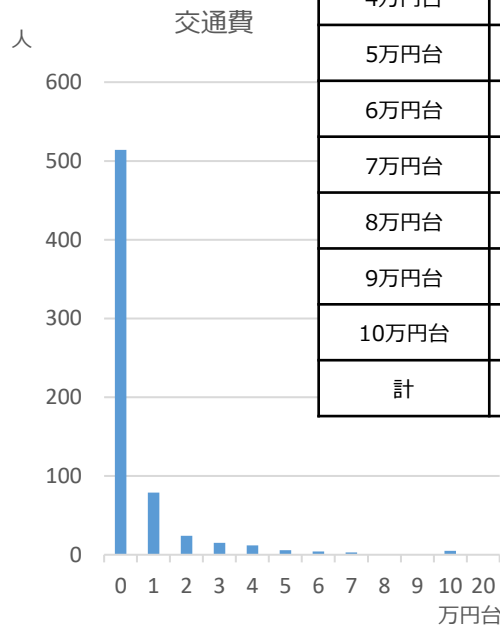
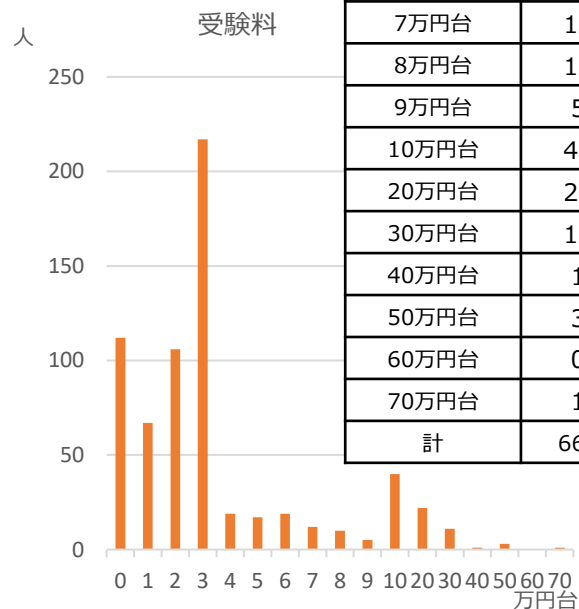
交通費は1万円未満が圧倒的に多い。遠方の学校の受験が少ない傾向。

交通費 (万円)	申請人数
1万円未満 (うち交通費なし)	517 (263)
1万円台	79
2万円台	24
3万円台	15
4万円台	12
5万円台	6
6万円台	4
7万円台	3
8万円台	0
9万円台	0
10万円台	5
計	665

**宿泊費の平均：
0.3万円**
(最高額 13万円)

宿泊費なしが圧倒的に多い。遠方の学校の受験が少ない傾向を反映。

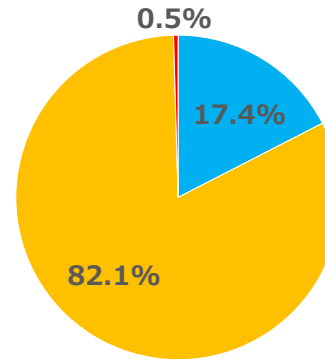
宿泊費 (万円)	申請人数
1万円未満 (うち宿泊費なし)	592 (579)
1万円台	30
2万円台	19
3万円台	12
4万円台	2
5万円台	2
6万円台	2
7万円台	0
8万円台	1
9万円台	1
10万円台	4
計	665



※ 入学料の平均は、国立大学 28.2万円、私立大学 24.0万円。授業料の平均は、国立大学 53.6万円、私立大学 96.8万円。
 入学料・授業料以外の学校納付金（施設整備費、実験実習費等）及び修学費（教科書・参考図書の購入費等）の平均は、国立大学8.0万円、私立大学25.4万円
 (出典:文部科学省「平成22年度国立大学の授業料、入学料及び検定料の調査結果について」「私立大学等の令和7年度入学者に係る学生納付金等調査結果について」、JASSO「令和6年度学生生活調査」)

■ 8 申請者別の共通テスト受験の有無【単一選択】

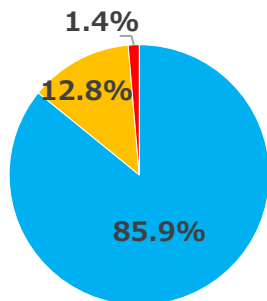
受験の有無	申請人数	割合
■ 受けた	116	17.4%
■ 受けていない	546	82.1%
■ 未回答	3	0.5%
合計	665	100.0%



大学入学共通テストを受験している人は2割未満。

9 奨学金の予約【単一選択】

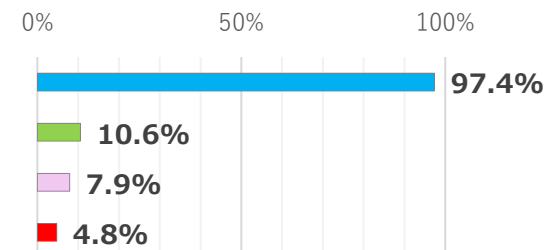
予約の有無	申請人数	割合
あり	571	85.9%
なし	85	12.8%
未回答	9	1.4%
合計	665	100.0%



奨学金を予約した人は8割以上。

10 奨学金の種類【複数選択可】

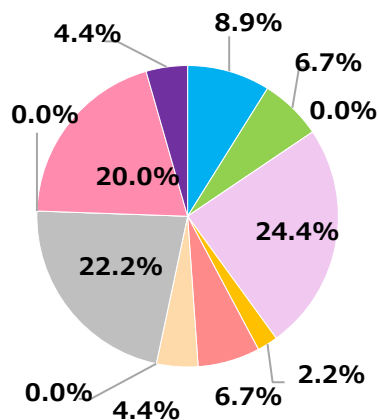
予約の有無	申請人数	割合
給付	553	97.4%
第一種	60	10.6%
第二種	45	7.9%
入学時特別増額	27	4.8%



予約の大半は給付奨学金。

11 第二種奨学金貸与月額

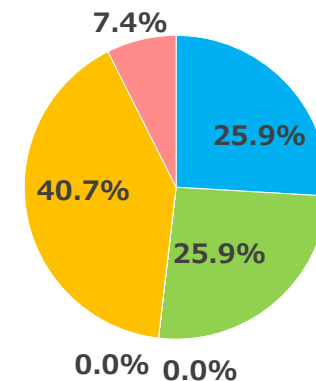
貸与月額	申請人数	割合
2万円	4	8.9%
3万円	3	6.7%
4万円	0	0.0%
5万円	11	24.4%
6万円	1	2.2%
7万円	3	6.7%
8万円	2	4.4%
9万円	0	0.0%
10万円	10	22.2%
11万円	0	0.0%
12万円	9	20.0%
未回答	2	4.4%
合計	45	100.0%



最も多いのは5万円、次いで10万円、12万円。

12 入学時特別増額貸与額

貸与額	申請人数	割合
10万円	7	25.9%
20万円	7	25.9%
30万円	0	0.0%
40万円	0	0.0%
50万円	11	40.7%
未回答	2	7.4%
合計	27	100.0%



最も多いのは50万円。

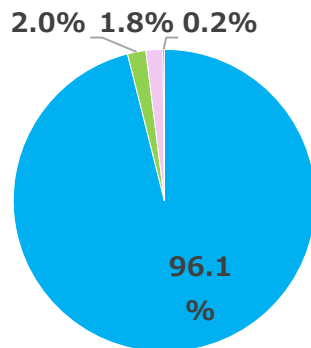
■ 進路等調査結果 7

■ 13 4月からの進路【単一選択】

進路	申請人数	割合
■ 進学 ※	639	96.1%
■ 就職	13	2.0%
■ 進学浪人	12	1.8%
■ 留年	1	0.2%
合計	665	100.0%

9割以上が進学を選択した。

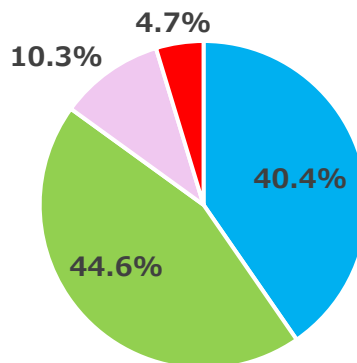
進学先は私立大学、次いで私立専門学校が多い。



※ ■ 進学先が明らかな申請者の内訳			
進学先の学校種	区分	申請人数	割合
大学	国立	17	2.7%
大学	公立	17	2.7%
大学	私立	319	50.7%
短期大学	公立	1	0.2%
短期大学	私立	49	7.8%
専門学校	国立	0	0.0%
専門学校	公立	11	1.7%
専門学校	私立	215	34.2%
合計		629	100.0%

■ 14 進学後の住まい【単一選択】

進路	申請人数	割合
■ 施設から通学	258	40.4%
■ 下宿	285	44.6%
■ 学生寮	66	10.3%
■ その他・未回答	30	4.7%
合計	639	100.0%



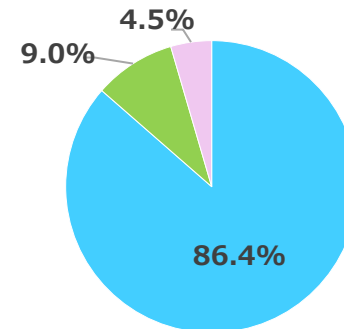
最も多いのが下宿（一人暮らし）。
次いで施設から通学が多い。

15 ご意見・ご要望

種別	回答	割合
■ 感謝	163	86.4%
■ 希望・要望	27	9.0%
■ その他	9	4.5%
合計	199	100.0%



※ ■ 希望・要望の中で多かったもの	件数
・事業継続希望	15
・進学後の支援希望	5
・支援対象拡大希望	2
・案内を早める要望	1



希望・要望（抜粋）

- お世話になります。受験料等支援については、入所児童の進学意欲につながっていると思います。今年度は推薦入試で完結していますが、来年度は大学入試共通テスト受験し、国公立大学を目指す児童がいることから、制度が存続することを願います。
- 国公立大学の進学を希望していても、万一を考え、私大を受験します。私大合格の場合、国公立大学の合否発表前に入学金（20万円）を収める必要があり、私大に入学しなくても返還されません。このように私大を受験し、国公立大学に進学した児童への支援を考えてもらいたい。
- 6か月ごとに授業料を用意しなければならず、保護者の力だけでは不可能なので是非ともご支援頂きたいと思っています。学生となる子の希望を叶えて上げたいのです。
- 入学時には学用品、パソコン、教科書他いろいろ出費がかさむのでとてもありがたく感じました。また今後の為にもWスクールや留学（交換）もさせたいので、それらの費用の支援システムがあれば助かります。
- 要望として、施設に入所歴のある子どもにもお願いしたい。